

# 事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0116/201010/02/00	事業の種類	4	
年度	19	事務事業名	塵芥収集経費	作成日	平成21年1月20日	
重要度	5	予算事業名	塵芥収集経費	担当部課名	環境課	
政策名	環境にやさしい、うるおいのあるまちづくり					
施策名	廃棄物処理		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市全市民				
	誰(何)を対象として	相生市全市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	分別収集をすることにより、ごみの減量化、資源化が図れ、ごみ減量の実践と環境意識を高め、環境保全・環境美化・住みよいまちとなる。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	地域の生活環境を保全するため、ごみステーションの適正化を図ると共に、分別排出されたごみを適正かつ効率的に収集する。					
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	可燃ごみ収集量	t	5,417	5,499	5,366	5,310
	資源ごみ収集量	t	1,995	1,997	1,922	1,860
	粗大ごみ収集量	t	367	396	361	350
	不燃ごみ収集量	t				

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	13.000	12.000	92.3	13.000	108.3	17.000	130.8	
	臨時職員	11.000	10.000	90.9	10.000	100.0	6.000	60.0	
支出内訳	人件費	142,872,976	129,120,964	90.4	139,270,265	107.9	163,134,724	117.1	
	事業費	9,803,699	8,698,365	88.7	8,925,072	102.6	8,776,000	98.3	
	合計	152,676,675	137,819,329	90.3	148,195,337	107.5	171,910,724	116.0	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	37,767,300		-		-		-	
	一般財源	114,909,375	137,819,329	119.9	148,195,337	107.5	171,910,724	116.0	
	合計	152,676,675	137,819,329	90.3	148,195,337	107.5	171,910,724	116.0	

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	特別収集								
指標説明(式)	自治会等が行う地区清掃によるごみの収集								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
件	目標	72	80	111.1	120	150.0	130	108.3	
	実績	72	120	166.7	137	114.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

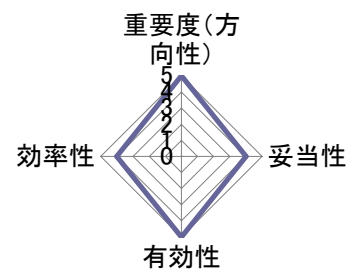
指標名1		収集ごみ1kgにかかる経費							
指標説明(式)		収集経費÷収集ごみ量							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	16.3	18.6	114.1	17.0	91.4	17.0	100.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	回収時においてごみの分別の徹底により、環境意識の向上が図られてきている。	5	4
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションに番号をつけることにより、地域の美化及び自治会等ステーション管理者による保全管理と適正な分別の徹底が図れた。	5	5
効率性	コストの節減	収集車両等の適正な管理運営を図りコスト削減を図った。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションから不法に持ち出されるごみ、また、不法投棄されたりとステーション管理の啓発を強化する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	燃料費高騰等もあり、効率的な収集が出来るよう検討する。
H19→H20予算反映額		△908千円

(2) 20年度の実施方針

分別の徹底はほぼ図れたと思うので、収集車両の延命化、また、燃料費のコスト削減に努めるとともに、収集について一部民間委託実施に向けた取組みをする。

検討の有無	-
総合指標	25